

## ◎ガバナーの任を終了するに当って



第2660地区

ガバナー 熊澤忠躬(守口RC)

拝啓 今年は大変なロータリー年度でありました。バブル崩壊による経済、政治の混乱、阪神大震災復興援助、世紀末を思わせるエイズ、オウムの社会騒乱、こうした渦潮を乗り切るリーダー役を務めるのが私共ロータリアンであるとの心意気で、会長、幹事の皆様に無理を承知で高度の目標を要望して参りました。その結果、会員増強をはじめ素晴らしい奉仕の実をあげて下さいましたことに、限りない感動と満足感とをもって、最後の月を迎えることが出来ました。まことにご同慶のいたりであります。今この一年間を振り返って、私のロータリー人生をまとめてみたいと思います。

### (1) 嘘はなかったか

私はガバナー就任時に、皆様に嘘を云わない、嘘を求めないと心に誓いました。というのは洋の東西を問わず、この世には本音と建て前とがあり、特にロータリーにおいては、「真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身」という永遠の理想を追及するだけに、ロータリアンの行動にはこの建て前が要求され、不本意ながら本音は云えなくなり、つい形式的になり勝ちです。元来本音とは、自己欲、身勝手、せまい範囲の常識に基づく、多分に本能的な次元の低いものであり、それにひきかえ建て前は原則的なもの、公的なもの、広い社会常識に基づく次元の高いものです。この両者の矛盾を克服して、本意がより建て前に近づく様に人生哲学をつくる努力が必要となります。先人のこうした思いが Service Above Self というモットーを築きあげたのでしょうか。もし私の言行が場処により、人により異っていたならば私は嘘をいったこととなります。今振り返って自己採点すると共に、どうしても私自身の考えが先人の意見と異なっているという点を、私の本音として特筆し皆様のご批判を仰ぎたいと願います。

### (2) ロータリアンとはボランティアを執行する社会人(家族)集団である。

RI 会長代理スティーブ・K・吉田氏の帰国後のお便りの一部を紹介します。

「先生のロータリーに対する将来への希望、夢が私の思いとまったく同じなのに驚きました。ロータリーをエリートだけではなく、一般の広い層に広げていく夢を是非実現されます様(女性を含め)お願いいたします。日本のロータリアンが多く増えることにより、Service Above Self、4つのテストを通じ、国

民の質が良くなり、それが自由市場社会で、日本人は信用出来ると世界中から思われる様になり、日本の将来にとり、とても大切なことです。」

氏はシベリヤで貧しいけれど立派な社会人を集めて1000クラブを作るのに献身的な努力を続けています。金持ちにはマフィアが多く、避けているそうです。私は「日本のロータリアンはボランティアを支援するエリート集団」であったが今や世界の主流である「ボランティアを実行する社会人集団」に向かうべきであるとの考えを会員増強の旗印にしてきました。偶然にも吉田氏と考えが一致し、非常に意を強くしている次第です。

### (3) 日本のロータリー募金はこれでよいのか。

当地区会計は、5500名で1億円が収入予算として計上されています。この枠の中で22の奉仕活動委員会費、事務費等すべてが賄われていまして恐らくこれが限度であろうかと思えます。所が一方、米山財団奨学会の本年度の目標額は1億1千万円で地区会計予算をオーバーしています。普通1億円の予算規模の団体で、同額以上に別個の特別募金額を目標にすることは常識では考えられないことです。ロータリーの本命であるRI財団寄付額は世界第二位の貢献を示していますが、この額よりも遥かにオーバーしています。米山記念奨学会のみが突出すると、本来の地区独自の奉仕活動や財団活動が経済的に圧迫されることになり、これでは世界のロータリーの中で、日本だけが孤立することになりかねません。従来からの米山財団関係委員のご努力には敬意を表しますが、日本経済成長期にエンドレスに目標額を上昇させた結果を今、再度考慮する必要があるでしょう。時勢に合わせてマイナス成長目標をたてるのも健全かも知れません。このままで進行すれば、会員増強の面でも支障を来すどころか、会員脱落に拍車をかけることにもなりかねません。本音を公言することに勇気のいることを痛感しながら心配のあまり筆をとった次第です。

### (4) 予防的奉仕

地区大会での橋本大二郎知事の予防的行政は新しい発想で非常に参考になります。スイスでは都会の住人が山村の林業、牧畜業の人に補助金を送って共存している様です。これは農村を都会の人が保護しないと、若い人が都会に集中し、交通、住宅、公共設備に膨大な資金が必要となる、これを治療的行政といい、前者を予防的行政とでも云うべきかとのべています。私達はこの考えをロータリーに利用して治療的奉仕と予防的奉仕と考えてみます。さしあたりポリオ活動がこの予防的奉仕にあたるでしょう。皆様是非知恵を絞って活用してみませんか。

以上の2～3の本音をのべましたが、本音が出ると物議も出るもので、それを期待しております。

これをもちまして私の最後のお便りいたしますが、今まで以上の情熱をロータリーに傾けて下さいます様に念じつつご挨拶いたします。